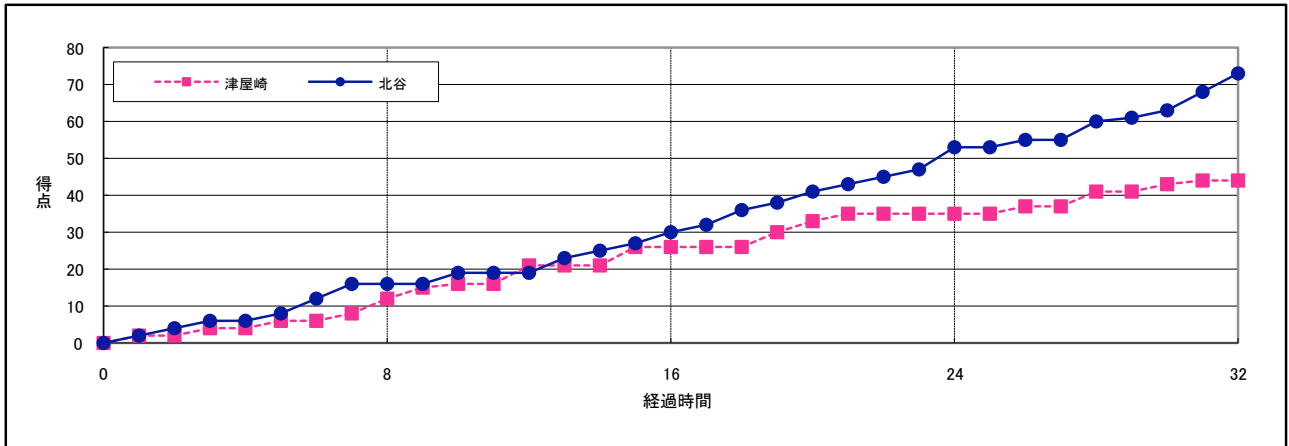


平成21年度全国中学校体育大会  
第39回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	3日目 女子 Mコート第1試合 決勝トーナメント決勝																			
日時	8月22日(土)		13:00 ~																	
会場	鹿児島アリーナ																			
結果	津屋崎 福岡 ●	44	<table border="0"> <tr><td>12</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>14</td><td>2nd</td><td>14</td></tr> <tr><td>9</td><td>3rd</td><td>23</td></tr> <tr><td>9</td><td>4th</td><td>20</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td><td></td></tr> </table>	12	1st	16	14	2nd	14	9	3rd	23	9	4th	20	OT			73	北谷 沖縄 ○
12	1st	16																		
14	2nd	14																		
9	3rd	23																		
9	4th	20																		
OT																				
審判	主審 久米 克哉		副審 津田 博夫																	



【個人トータル表】

×=スターティングメンバー / =出場選手

空欄=出場なし

津屋崎							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	瀬戸あかね						
5	渡邊絵里加	/	4	0	2	0	2
6	中村美仁	/	3	0	1	1	0
7	江崎美和	×	1	0	0	1	4
8	北阪優奈						
9							
10	間萌香						
11	米倉晴香	×	6	0	3	0	4
12	内匠媛奈	×	8	0	3	2	4
13	村山雅	×	12	3	1	1	1
14	西幹菜						
15	貫方菜子						
16	牟田穂乃佳	×	10	0	5	0	1
17	永島望美	/	0	0	0	0	0
18							
監	竹内眞二						
C	山田加代子						
合計			44	3	15	5	16

北谷							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	直田幸奈	×	2	0	1	0	3
5	安間志織	×	14	0	6	2	2
6	比嘉りみ	/	8	2	1	0	1
7	川上麻莉亜	×	23	0	10	3	2
8	川上美嬉	×	16	0	6	4	0
9	山城晴菜						
10	与那覇沙耶						
11	神谷景子	×	10	2	2	0	0
12	島袋舞央						
13	仲村秋璃						
14	座喜味瞳						
15	知念未来						
16	石原亜美						
17	座喜味美咲						
18	大橋遥						
監	比嘉学						
C	當眞克也						
合計			73	4	26	9	8

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー

第1P、今年の春の九州大会準決勝の再現となった決勝、お互いマンツーマンディフェンスから始まる。津屋崎#16がドライブで先制すると、北谷#11が点数をすぐに決める。お互い激しいディフェンスで、シュートが決まらず残り、開始4分で津屋崎4-6北谷。残り2分、北谷が激しいディフェンスからスティールやセットプレーで点数を重ねていく。残り1分で、津屋崎6-14北谷。津屋崎はメンバーチェンジを行い、#12の果敢なドライブ#6のジャンプシュートで点数を決め、津屋崎12-16北谷で終了。第2P、開始直後、津屋崎#13が3Pシュートで先制して、1点差に詰める。北谷#8のオフンスリバウンドからのシュート等で応戦する。開始3分、津屋崎がオールコートマンツーマンを仕掛け、激しいディフェンスからスティールを狙う。津屋崎は速いパス展開からオフンスのリズムを掴み始める。開始4分、津屋崎21-19北谷と津屋崎逆転で、北谷タイムアウト。その後、北谷も落ち着いたプレーを展開し、北谷#8の連続ジャンプシュートや北谷#7のインサイドプレーで点数を重ねる。津屋崎も#13の3Pシュートやアシストでお互い流れを譲らず、津屋崎26-30北谷で前半終了。第3P、北谷が更に激しいディフェンスを仕掛け、津屋崎にプレッシャーを掛ける。北谷はディフェンスからオフンスのリズムを掴む。北谷#8のハイポストからのジャンプシュートや#6のドライブから点数を重ねる。開始2分、津屋崎26-36北谷で、津屋崎タイムアウト。その後、津屋崎はハーフの1-3-1ディフェンスで、流れを変えようとする。津屋崎は#7、中心にオフンスを展開した。北谷は、#7の合わせのプレーを中心に、落ち着いたゾーンオフンスを展開し、点数を重ねる。津屋崎35-53北谷で終了。第4P、津屋崎は、オールコートマンツーマンで激しいディフェンスを展開して粘りを見せる。北谷#5が落ちついてボール運びを行い、オフンスを展開。北谷#5の1対1、北谷#7の力強いインサイドプレーで点数を重ねる。津屋崎も#13のゴール下シュートや#16のオフンスリバウンドで攻める。残り3分、津屋崎41-60北谷で津屋崎タイムアウト。津屋崎も激しいディフェンスで粘りみせ、積極的に3Pシュートを狙う。しかし、北谷も激しいディフェンスからの速攻や北谷#7のオフンスリバウンドやインサイドプレーで点数を重ねる。その後も北谷の連続得点が続く。津屋崎44-73北谷で、北谷が勝利し優勝を飾った。